

## 編集後記

SBI 大学院大学  
紀要編集委員会 太齋 利幸

この度、SBI 大学院大学「紀要」第 13 号（2025 年度版）を刊行することができました。本紀要  
は 2013 年度の創刊以来、今年度で 13 回目となりました。投稿された皆様ありがとうございました。  
今回も、紙媒体と電子媒体での刊行といたします。

本学の紀要では、2016 年から統一テーマを設けており、「フィンテック」「アントレプレナーシップ」  
「I o T」「リーダーシップと人間学」「イノベーション～ポストコロナに向けて～」「サステナビリティ  
～ DX 時代の経営～」「グローバル時代のダイバーシティ経営」「不確実性下の経営」「アントレプ  
レナーシップ～軌跡・課題・展望～」という本学らしさを打ち出した特集を組んできました。もちろ  
ん、特集テーマ以外の論文も掲載されております。そして、今年度のテーマを「AI 時代の経営」と  
しました。昨今の AI 進展のスピードにはすさまじいものがあり、本校でも事業計画演習においては  
生成 AI を使ってもよいようになりました。また、来年度からは AI に関する新しい授業も開始されま  
す。

さて、ロシア、ウクライナ戦争の終結はなりそうでならず、相変わらず世の中は混沌としておりま  
すが、日本においても同様に、低レベルの政治家と官僚、信用できないマスコミ、日本国民の貧困化  
（税金や社会保険料などによる国民負担率の高さ）、少子高齢化、外国人問題、関税問題、エネルギー  
問題、クマ被害など問題は山積しています。ただし、救いなのは石破政権から高市政権に代わり、ガ  
ソリンの暫定税率廃止や補助金などの見直し、積極財政への転換などいくつか明るい材料が見えてき  
たところは今後に幾分期待できる点かと思われます。さらには、AI 技術の進展により日本が上昇傾  
向に転換することを願ってやみません。その点で今回の紀要も楽しみになります。

これまで同様、今回の紀要も、特集テーマ論文、一般論文、修了生論文の 3 部構成になっています。  
また、専任教員以外に、非常勤教員、研究員、修了生から総勢 16 名と昨年より 5 名も多くの方から  
の投稿をいただきました。本当にありがとうございました。

最後になりますが、論文校正、印刷・製本などをご担当いただいた多くのスタッフの皆さまに感謝  
申し上げます。次年度以降もよろしくお願いいたします。